

令和元年度 第8回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和元年 11 月 28 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 4 階 401 会議室

第8回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和元年11月28日（木） 午前9時30分 ～ 午前10時45分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 4階 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

西岡章寿	教育長	金本一二	委員
片山繁樹	委員	中山由香里	委員
前田純恵	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	中尾善弘	次長兼こども未来課長
西林文隆	次長兼施設整備課長	進藤美穂	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	柴原宏二	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	西田征博	人権推進課長
西嶋義美	地域創生課長	田中美有	教育総務課主事

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

片山委員

6 前回会議録の承認

令和元年度第7回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

(1) 幼保一元化推進状況について

12月3日（火）に一宮南地区幼保一元化協議会を開催し、一宮南中学校の生徒から募集した園章について応募は114点ありましたが、デザインについて協議会委員のみなさんに選定していただく予定となっています。

それから、園歌については、後ほど担当課から説明しますが、業者に作詞・作曲を委託する予定となっています。

(2) 宍粟市教育研修所研究大会について

令和2年1月10日（金）に山崎文化会館で開催します。保育所、幼稚園、認定こども園、小学校及び中学校のすべての教職員、また地域の方々に参加いただき、教育力量を高めるとともに意識の高揚に努めます。

(3) その他

11月24日（日）に、家原遺跡公園で第15回宍粟市ロードレース大会を実施しました。1,109組、1,176人の参加で昨年度より若干参加者数は減少しましたが、事故もなく無事実施することができました。

また、令和2年成人式を、1月12日（日）に山崎文化会館で開催します。現在、15名の委員で実行委員会を組織し、協議を行っているところです。

8 議事

議事に入る前に、第11号議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、歳入歳出予算のうち教育に関する部分で、議会の議決を諮るべき事件の議案作成において、教育委員会の意見を聞くこととなっているもので、議会提案前の内容であること、また、第12号議案及び第13号議案についても、地方自治法第149条の規定に基づき、地方公共団体の長が担任する事務で、議会の議決を諮るべき事件の議案で議会提案前の内容であり、地方公共団体としての意思形成過程、意思形成の中立性の観点から、いずれも非公開にしたいと西岡教育長が説明し、審議の結果、全員「異議なし」とし、第11号議案、第12号議案ならびに第13号議案は協議報告事項終了後の非公開審議が決定された。

第14号議案 令和2年度宍粟市立学校教職員の人事異動方針について

令和2年度宍粟市立学校教職員の人事異動を実施するにあたり、異動方針を決定する必要があることを世良学校教育課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、同意することが決定された。

委員の主な意見及び事務局の説明

意見なし

第15号議案 令和2年度宍粟市立保育所・幼稚園・こども園職員の人事異動方針及び職員配置基準について

令和2年度宍粟市立保育所・幼稚園・こども園職員の人事異動を実施するにあたり、異動方

針及び配置基準を決定する必要があることを中尾次長兼こども未来課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、同意することが決定された。

委員の主な意見及び事務局の説明

(金本委員)

先ほど、幼児教育の無償化の影響がという話があったが、もう少し具体的に説明願いたい。

(中尾次長兼こども未来課長)

これは、無償化以前から聞かれていることであるが、まずは給食、そして午後のあずかりということで、一日あずかってほしいという声が保護者にはたくさんあると思っている。ただし、国の制度では、就労を理由に一日保育ということについては、保育所やこども園で保育をするということで、幼稚園は午前中の4時間が標準時間という中で運営させていただいているので幼稚園児が少なくなっている。そのあたりについてはご理解をいただき、ここのニーズについては幼保一元化、こども園の整備で解決を図っていくということで方針をたてているので、早急に幼保一元化を進めないといけない現状がここにあると考えている。

(西岡教育長)

今年度と比べて希望人数がどうなっているか、具体的にわかっていたら説明をお願いしたい。

(中尾次長兼こども未来課長)

今年度、8園で177人だと思うが、現在申込みを受け付けているのが、伊水幼稚園の状況は後で出てくるが、6園になって85人という状況である。一番には、神戸幼稚園がはりま一宮こども園に移行し約50人減ることになるが、それを差し引いたとしても127人の子どもが85人ということで、かなり少なくなってきたというのは現状としてあるのではないかと考えている。

(片山委員)

どの園も複式に近いような状況で来年度スタートしないといけないということで、集団で活動するということのマイナスもあると思うが、その人数で4クラスが複式になるということで、園の職員数が非常に少なくなるという中で、先ほど説明があった『5. 幼稚園配置基準』⑤の「1クラス5名未満の場合は異年齢による学級編制とする。ただし、年齢ごとの活動が必要な場合には学年ごとに臨時教諭を加配することができる」とあるので、できるだけ人数の加配をしていただき、子どもの安全面についても十分配慮し、人数が少ないからいいということになってそのあたりが手薄にならないようお願いしたい。

(中尾次長兼こども未来課長)

数年前から複数の園でこういった現状があったことから、⑤の基準を作らせていただいている。まず、クラスの担任は正規職員を配置するという基準があり、異年齢による学級編制ということで、複式になる場合には、担任の先生は正規職員であるが、年齢ごとのクラスの活動に戻ったときは学級運営ができる職員として、1人臨時教諭を加配するという考えでおり、ご指摘があったように、人数が少ない中でも園の職員数は減らさずに現状維持ができるような配置を行っていきたいと考えている。

第 16 号議案 宍粟市立伊水幼稚園の休園について

令和 2 年度の幼稚園入園申込児童がいないため、宍粟市立伊水幼稚園を休園することについて進藤教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、同意することが決定された。

委員の主な意見及び事務局の説明

(前田委員)

もし希望があればまた再開するということか。

(進藤教育総務課長)

1 人申込みがあっても、園児 1 人では園の運営ができないため、近くの園に行っていただく、あるいは保護者が就労されていたら保育所に行っていただくことになると思っている。申込みがあれば、保護者と相談して対応していきたい。

9 協議報告事項

(1) 宍粟市教育委員会事務事業（平成30年度実施事業）評価結果について

別冊「令和元年度（平成30年度事業対象）宍粟市教育委員会点検・評価報告書（案）」により、進藤教育総務課長が説明した。

(2) 令和 2 年度宍粟市就学援助制度について

資料 1 「令和 2 年度就学援助申請について」等により、進藤教育総務課長が説明した。

(3) 幼保一元化推進状況について

資料 2 「幼保一元化推進状況について」等により、中尾次長兼こども未来課長が説明した。

(4) 学校給食における異物混入状況及び対策について

資料 3 「令和元年度学校給食センター異物混入状況及び対策について」により、池本学校給食センター所長が説明した。

(5) 12月人権週間関連事業・西播磨人権のつどいについて

資料 4 「宍粟市における人権週間の取組」等により、西田人権推進課長が説明した。

(6) その他

一人で登下校する児童の安全対策（スクールバス利用）及び波賀町皆木地区児童のスクールバス利用について、波賀町関係自治会長、PTA会長、波賀小学校、波賀市民局長及び教育委員会で調整会議を行い、今年度以降の取扱いについて方向性を決定した旨、進藤教育総務課長が説明した。また、現在建設中の一宮市民協働センターの機能について、別添資料により西嶋地域創生課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

意見なし

11 次回会議の招集について

令和元年12月16日（月）午後 4 時30分から、令和元年度第 9 回宍粟市教育委員会を開催する
とした。

12 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前 10 時 45 分終了